

NEW

『心不全緩和ケア』 始まりました！

Q&A

看護部主任 循環器病センター おおつき 大月 ゆきえ 幸恵

●心不全とは

心臓に何かしらの異常や病気があることで、心臓のポンプ機能が低下して全身に十分な血液を送り出せなくなった状態をいいます。心不全の状態になると、息切れ・呼吸が苦しい・むくみ(浮腫)・疲れやすい・手足が冷たいなどの症状が出ます。

●心不全の進行

がんは、診断されてから比較的長い間身体機能が保たれ、最後の数ヶ月で急速に身体機能が悪くなります。一方、心不全は時間の経過とともに状態が悪くなったり良くなったりすることを繰り返しながら、徐々に身体機能が落ちていきます。症状が進行し終末期の段階になると、日常生活に介助が必要になったり、適切な治療を受けているにも関わらず短期間のうちに何回も入退院を繰り返します。

●心不全緩和ケアとは

心不全患者さん家族に対して、呼吸困難等の身体的苦痛やその他の問題(心理的・社会的・スピリチュアルなもの)を早期に発見し、的確な治療・処置を行うことによって、苦痛を予防し症状を和らげることでQOL(生活の質)を改善するアプローチです。緩和ケア＝死期が近くなってきたからのケアという意味ではなく、心不全と診断された早い段階から介入させていただくという考え方です。

●どんなことをするの？

現在の心不全の状態を診察させていただき、身体症状に合わせた治療(内服・注射・点滴)を継続し、呼吸が苦しい等の症状が和らぐように介入します。また患者さん家族のQOL(生活の質)を大切にしたいという気持ちを尊重し、身体的な症状だけでなく心配事や不安を含め精神面のサポートをおこないます。

あづみ病院では様々な領域のプロフェッショナルで構成された循環器チーム、緩和ケアチームが連携して患者さん家族に介入させていただいていますのでご相談ください。

お問合せ 0261-62-3166(代表) 循環器内科外来 14時～17時